

福祉のまちのぼし No.19

[発行責任者] 幟町地区社会福祉協議会 会長 和田 高明 広島市中区鉄砲町9番5号 電話 082-223-5556 編集者 横田 泰行・真志田 徹・熊谷 浩

はじめまして、叡啓(えいけい)大学です

叡啓大学地域連携調整ワーキンググループ主査 保井 俊之 (学部長・教授)

みなさま、はじめまして。叡啓(えいけい)大学です。幟町地区のみなさま、どうぞよろしくお願い申し上げます。叡啓大学は、「学びの変革」プロジェクトを進める広島県の「一丁目一番地」の事業として昨年4月に幟町一番地に開学した、広島県立の大学です。幟町小学校から東に200メートルほど、聖母幼稚園のすぐ北隣に位置しています。

叡啓大学を一言で表すと「22世紀型大学」。学部は「ソーシャルシステムデザイン学部」の一学部のみです。これからの数十年間で、いまある学問と仕事の半数以上が消滅と言われていています。そこで、22世紀を生き抜くためには、学びが「できる」のではなく「創れる」人、仕事が「できる」のではなく「創れる」人を育てることが急がれます。そのために、「木を見て森も見る」力と「実現したい未来を自ら企画・立案する」力で、「社会の課題を解決する」をやり抜く力を育てます。「人生百年時代」で次の世紀を生き抜いていく学生に、社会を前向きに変える人財に育つように、社会を変える実践力、社会を生き抜く国際教養力、そして社会をつなぐ世界×地元(グローバル)の力を養成します。



叡啓大学正面玄関



学生のグループ学習風景

叡啓大学は、世界の最先端を行く大学のモデルで設計された、特色ある大学です。偏差値の「輪切り」ではなく、将来の伸びしろ(コンピテンシー)で学生を選抜・育成します。学生が自ら学ぶ意欲を大事にします。全科目がグループ学習などの能動学習で、一方的な座学は20%までを目安にしています。日本最大規模の課題解決演習に全学生が取り組みます。文系と理系の区別はなく、全学生がデジタル技術と戦略的思考スキルの向上を図り、同時に実践的英語力の向上を通じて、世界に通じるコミュニケーション力を育てます。全学生を対象にコーチングを行っています。学生が自ら提案し行動する意欲と能力を大事にしています。すでに、地域と大学をつなぐ一般社団法人を立ち上げた学生や、教育関係の一般社団法人の理事に就任した学生も出てきました。

入学定員は一学年百名です。日本語の入試と英語の入試を用意しています。春秋の二回、入学式を行います。授業はすべて少人数授業で、同一科目が日本語と英語で開講される、世界に開けた大学です。大学内には「大学まで徒歩0分」の国際学生寮を完備しています。

叡啓大学の教職員及び学生は、世界に開き、多様性を重視し、そして地域に溶け込んで活動したいと願っています。これまでに一期生の春・秋入学者と二期生の春入学者を迎えました。出身は広島県内と県外がほぼ半々。県外生は、宮城県から熊本県までの広い地域から集いました。また学生の国際的背景も、アルゼンチン、ウガンダ、ガーナ、韓国、シンガポール、象牙海岸、中国、フィリピン、ブラジル、米国、ベトナム、ペルー及びマレーシアと多様です。叡啓大学の学生は地域の行事に参加し、「幟町ファミリー」として、地域のために貢献したいという希望を持っています。

叡啓大学は、地域のみなさまとの交流のために、「地域連携調整ワーキンググループ」を学内に昨冬、発足させました。メンバーは教員代表、学生代表、及び地域代表です。地域代表として、幟町地区社会福祉協議会会長並びに幟町連合町内会会長の和田高明さまにお入りいただいております。

地域のみなさまと学生が交流し、地域の活動に使っていただける「コミュニティ・commons」を一階に用意しています。詳細については、叡啓大学ウェブサイトの施設利用案内「叡啓大学施設の利用について」(<https://www.eikei.ac.jp/about/facility/>)をご参照ください。

まちで叡啓大学の学生を見かけたら、ぜひ「幟町ファミリー」として、温かい声をかけてやっていただけるとありがたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



叡啓大学一階のコミュニティ・commons

わたしたち、新しい団体長です

女性会会長 森田 禎絵

はじめまして。

この度、女性会会長になりました森田禎絵です。初めての大大役で、日々ドキドキ緊張しながら色々な会合に参加させていただき、勉強させていただいております。

女性会会員の皆さんが楽しく前向きに活動できるような会にしたいと思っています。そして、各種団体の皆様と協力しながら、幟学区がより良い地域になりますよう活動していきたいと思っております。



体協会長 秋山 恭廣

湯蓋会長より引き継いで幟町体育協会会長を務めさせていただきます秋山恭廣です。

コロナ禍で行事もやりにくい状況ですが、町内の行事として、ユニカール大会、ソフトボール大会、ニュースポーツ体験会、トン汁ハイキングなど企画しています。皆さんにたくさん参加して頂き、たくさん楽しんで頂き、役員、スタッフと共に明るく楽しく元気な幟町体育協会となるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



編集後記

新しく県立叡啓大学さんが地域の仲間入りをされました。希望に満ちた若者がたくさん地域に来てくれることをうれしく思います。コロナ禍で人と人が親しくふれあうことの難しい昨今ですが、お互いに助けあって、未来を担う青年たちが地域に明るさとエネルギーをもたらしてくれることを、また彼らが学生時代をこの地域で過ごし学んだ4年間が、かけがえのない時間になり、未永く幟町地区を愛してくれることを心から願っています。 横田 泰行